

教科	農業	科目	飼育と環境	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	畜産専攻
使用教科書	畜産(実教出版)			使用副教材等	ワークシート、視聴覚教材、実習記録簿				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、飼育動物の育成環境の調節・管理に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	飼育と環境について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	飼育と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	飼育と環境について農業生物の飼育や管理に応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価方法	・定期考査 ・農業鑑定競技 ・小テスト ・実習技能の習得 ・実習記録簿	・定期考査 ・ワークシート ・実習状況の観察 ・実習記録簿	・ワークシート ・実習・授業の様子 ・実習記録簿の内容 ・農業作文

担当者からのメッセージ	・座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 ・実習では、特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。 - また、自ら行動し(自主性)、仲間と協力して(協働)、最後まで集中して(責任感)取り組むようにしてください。 ・実習で学んだ内容は、実習記録簿に詳しく記入し、期限を守って提出することを心掛けてください。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	○オリエンテーション ・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを理解する。	※(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度
	4	(1)「飼育と環境」とプロジェクト学習 ア 飼育と環境に関するプロジェクト学習の意義 イ プロジェクト学習の進め方	・「畜産」「総合実習」「課題研究」などと連携しながら、課題を設定し学習を進めることができるか。(知・思・態)
	5 7	(2) 飼育の目的と現状 ア 飼育の目的 イ 飼育の現状と動向 (3) 飼育と環境 ア 動物の種類と特性 イ 発育と環境 ウ 衛生と環境	・動物飼育の現状と動向について理解するとともに、関連する技術を身に付けるように取り組んでいるか。(知) ・動物飼育の現状と動向に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができるか。(思) ・動物飼育の現状と動向について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む事ができているか。(態) ・動物の飼育技術と環境について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができるか。(知) ・動物の飼育技術と環境に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決することができるか。(思) ・動物の飼育技術と環境について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができるか。(態)
2 3	9 2	(4) 飼育技術と管理・評価 ア 飼育と管理・評価 イ 飼料と管理 ウ 動物バイオテクノロジーと繁殖技術 (5) 飼育の実践	・動物の飼育技術と管理・評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができるか。(知) ・動物の飼育技術と管理・評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができるか。(思) ・動物の飼育技術と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができるか。(態) ・動物飼育の実践について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができるか。(知) ・動物飼育の実践に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができるか。(思) ・動物飼育の実践について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができるか。(態)